

一中だより

令和 5年 3月10日 発行 14号

新潟市立新津第一中学校

電話 0250 (22) 3622

FAX 0250 (22) 6407

HP <http://www.niitsuljh.city-niigata.ed.jp/>

e-mail j501niitsul1@city-niigata.ed.jp

～ 祝 卒業式 ～

3月6日(月)に第76回卒業証書授与式が行われました。ここ数年コロナ禍のため、いろいろな制約の中で卒業式が行われてきましたが、今年は三年生の卒業合唱が録画上映など数か所の制約があったものの、ほぼ正常な形で行うことができました。卒業生は素晴らしい姿で学校を巣立っていきました。

卒業式式辞

一月の大寒波では、雪が毎日、降りしきり、学校の周囲も雪景色となりました。二月になり、雪が溶け始め、ようやく春の訪れを感じられる日が続くようになりました。三月になり、今日のこの日を待っていたかのように、一気に温かい風が吹き始めました。

この春本番の良き日に、本日、ご多用の中、PTA会長土屋冠(たかし)様、保護者の皆様、そして、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和四年度、新潟市立新津第一中学校、卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生、教職員にとりまして、大きな喜びです。

本日、ご臨席を賜りました保護者の皆様には、日頃から当校の教育に、ご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。また、本日、卒業する卒業生の門出をお祝いしていただいたことに、心からお礼申し上げます。

一九七名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今日、無事三年間の中学校の教育を終え、一人一人に卒業証書を手渡しました。皆さんは今日から伝統ある新津第一中学校の二万人を超える同窓生の一人として、これからの未来の日本を支える人材として、社会を発展させてくれることを期待します。

中学校生活の三年間を振り返るとき、新型コロナウイルスの流行があったことは生涯忘れることはできないと思います。みなさんの入学式は新入生と保護者の方で行いました。入学式を行えることに喜びや感動を覚えました。学校が長期にわたり休業になった期間もありました。このまま、学校で授業や活動ができない日が続くのだろうと私は心配し、不安に思っていました。中学校生活で身につけてほしいことはたくさんあります。学力を身につけるだけでなく、部活動や生徒会活動を通じて、人間関係作りや仲間とのコミュニケーションのあり方を学ばなければなりません。三年間でしっかり成長してほしい、そんな願いをもち令和二年度がスタートしました。新年度、学校が始まっても、マスクを外して活動できるのは限られた場面でした。体育の授業や部活動ではマスクを外し活動しました。マスクをつけずに活動している姿を見て、早く日常の生活に戻ってほしい。マスクをつけずに生活することが当たり前になってほしいと願っていました。三年生となった今年は、ウィズコロナという言葉が多く聞かれるようになりました。どうやって社会生活を送るか。そして、どうやって学校の活動をすすめ、学力や社会性を身につけられるよう工夫することが、教育活動の課題でした。今年度は、予定通り体育祭を九月に行いました。昨年度に引き続き、競技を工夫することを、三年生が中心となって、考えてくれました。これまで卒業していった三年生が工夫して取り組んでくれた積み重ねがあり、今年はより一層、力強い体育祭になりました。これまでの卒業生が困難に立ち向かい可決する姿の積み重ねがあり、今年の体育祭の姿になっています。あなたたち卒業生の姿は後輩の一、二年生に引き継がれていくはずで、部活動では、練習試合や大会の制限も少しずつ緩和されました。練習も大会もこれまで通り行えるようになりました。新潟県大会や北信越大会、関東大会に出場する部活動が多くありました。よくがんばってくれました。合唱コンクールは全校生徒が揃い体育館で行いました。全校が揃って行う合唱コンクールは三年ぶりでした。上級生の歌声や姿勢から、下級生は将来の自分たちの成長の姿を思い描くことができた、



意義ある合唱コンクールになりました。皆さんのこの姿は今後も下級生に引き継がれていくことでしょう。

三年間を振り返ってみるとき、生活に制限や制約がある時期を経て、今年は徐々に日常を取り戻すことができた一年といえます。この三年間の中で、我慢を強いられた時期。そして、少しずつ日常を取り戻す時期を、中学生だけでなく大人も過ごしてきました。この期間、学校は何のために存在するのか。勉強は何のためにするのか。学校行事の意味をみんなが考えたことと思います。そして、一つ一つの活動の意味を意識するようになり、考え抜いた末に、価値を失わない活動を増やすことができたと考えます。また、社会全体もこれまでの当たり前を疑い始めたことで、新たな活動が生まれつつあります。

中国の思想家である孔子の論語の中に次のような言葉があります。「歳(とし)寒(さむ)くして、然(しか)る後(のち)に松(しょう)柏(はく)の彫(しぼ)むに後(おく)るるを知るなり」。

一番寒い季節になると、そのときはじめて、松や柏がしぼまずに残っていることがわかると表現しています。人の真価は苦難の時にわかるという意味です。松や柏の木は花を咲かせません。ですから、普段はあまり目立ちません。ところが、厳しい冬の季節がやってくると、ほかの草木がすっかり枯れてしまっても、松や柏の木は枯れずに、その存在感が増します。厳しい冬は、逆境を表しています。松や柏は、節操のある強い人のたとえです。逆境に置かれたとき、それでも自分の信念を曲げずにしっかりと生きることのできる人をさしています。今日までの三年間は制限や制約のある生活を送ってきました。しかし、三年がたち少しずつ制限が緩和され、春には日常の生活が戻りそうです。社会全体で逆境を乗り越えてきたからこそ、まもなく明るい生活がやってきます。みなさんの将来に光ができています。これからも、逆境を迎えることがあるかもしれませんが、その時に、自分の目標を見失うことなく、信念を曲げずに生活を送ってください。皆さんの将来に幸多いことを願っています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にとおめでとうございます。お子様は三カ年の中学校生活を終え、今、卒業証書を手にしてしています。三年前の四月の頃の姿に比べ、心も体も立派に成長しました。大きくなったお子様の姿に感動されていることと思います。

職員一同、お祝いを申し上げます。

これまで、子どもたちの活動も不安定な時期がありました。しかし、社会もようやく日常に近づきつつあり、学校の活動も日常に戻りつつあります。これから先、社会は日常を取り戻し、これまでになかった社会構造になっていくことが予想されます。卒業生が自分を見失わず、今後もたくましく、社会を生き抜いていくことを祈念いたします。

最後になりますが、ご来賓をはじめ、皆様のおかげをもちまして、卒業式を本日、無事、挙行できましたことに感謝申し上げます。今後も変わらぬご支援をお願い致します。

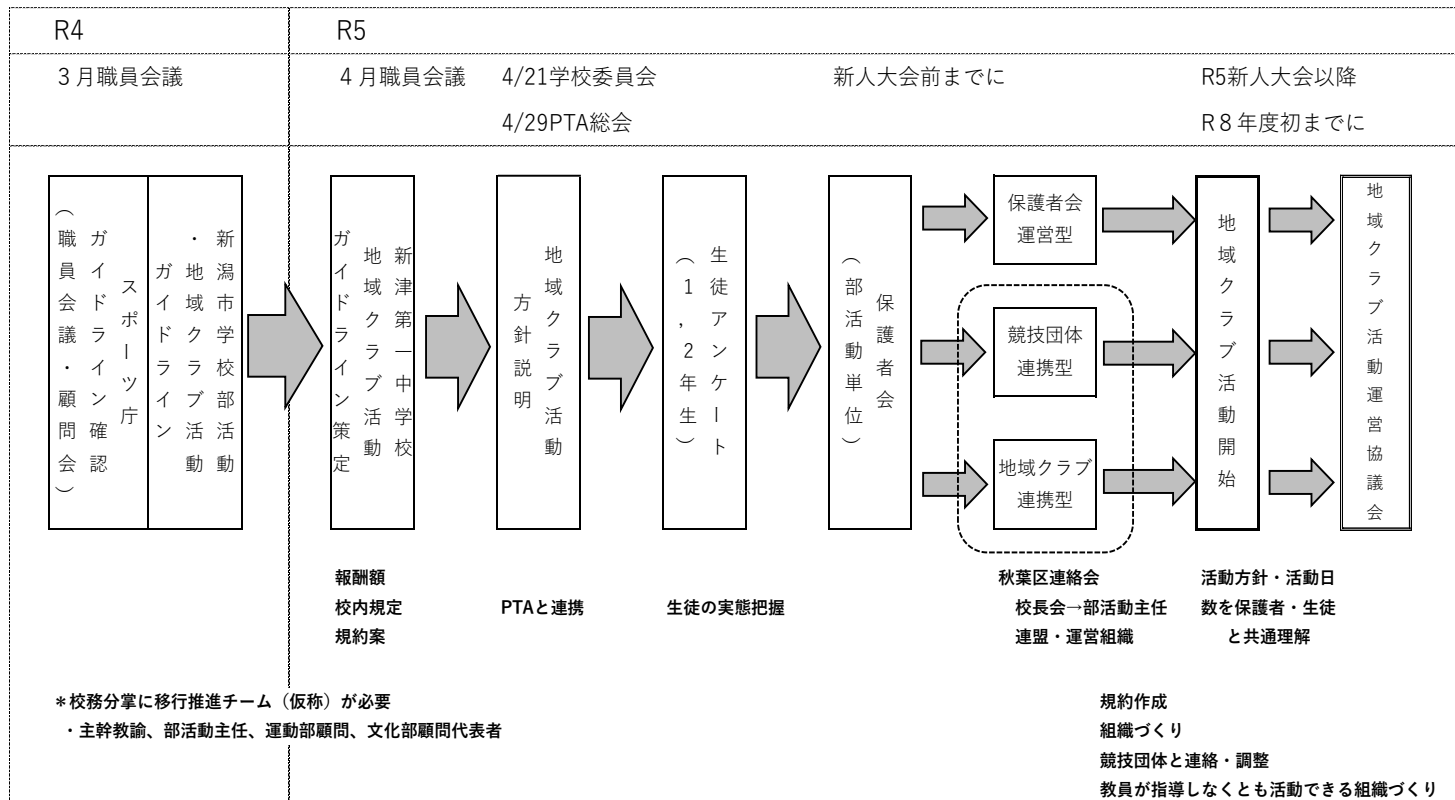
以上、卒業生の新たな門出をお祝いし、式辞といたします。



部活動地域移行について

一中では部活動の地域移行について、下記のようなスケジュールで進んでいきたいと考えています。当然、進んでいく中で生徒や保護者、地域の声を聴きながら最善の形ができるように進めていきます。下記の図は現段階での流れを表しています。あくまでも現段階での案となっています。ご意見、ご要望等があればご連絡ください。よろしくお願いいたします。

新津第一中学校 土日の部活動 地域移行スケジュール (案)



各種大会結果

部活名	大会名	結果
柔道	県1年生体重別大会	73kg級 2位 箱岩 陸 55kg級 5位 伊藤蒼時
国語	新潟県書き初め大会	準特選 佐藤詩歩

新年度始めの予定

- 4月4日(火) 新3年クラス発表 10:00~
新2年クラス発表 11:00~
- 5日(水) 新1年事前指導・クラス発表
- 7日(金) 新任式・始業式・入学式 (PM)